



ヴォルフハルト・パネンベルク 佐々木勝彦 訳  
組織神学 第三卷  
Systematische Theologie 3  
Wolfhart Pannenberg

W. パネンベルク 1928年、シュテッティンで生まれた。非宗教的な家庭に育つ。第二次大戦に従軍、イギリスで捕虜生活を送る。ハイデルベルク大学でエトムント・シュリンクに師事し、ドゥンス・スコトゥスの研究で学位を取得。ヴッパータール、マイantz、ミュンヘンの各大学で組織神学を講じた。2014年逝去。

## パネンベルクの名著、待望の続刊

# 組織神学 第三卷

## ヴォルフハルト・パネンベルク著／佐々木勝彦訳

◆ A5判・888頁・定価13200円

5月25日発売

モルトマンと共にバルト後の神学界を主導したパネンベルク。その名著『組織神学』全三卷（一九八八―一九九三年）は長らく邦訳が待たれていたが、ここについて刊行開始。キリスト教の真理要求を保持しつつ、歴史的省察と体系的省察とを絶えず結合し貫徹しようとする批判的・方法的意識に貫かれた叙述。第三卷は終末論的賜物としての霊に関する教理という大きな枠組みのなかで、教会論を徹底的に展開する。

### 【目次より】

第12章 霊の注ぎ、神の国、そして教会

第13章 メシアの教団と個人

I イエス・キリストと個人の交わりと、信仰者たちの交わりとしての教会

II 個人のキリスト者における、霊の諸々の基本的な救済の働き

III 教会生活におけるキリストの救済の現臨の象徴的形態

IV 教会の一体性のしるしと道具としての教導職・管理職

V 教会と神の民

第14章 選びと歴史

第15章 神の国における創造の完成

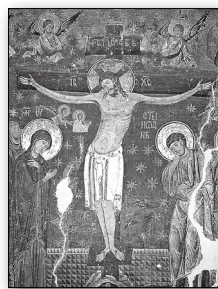
# 正教の道

5月25日発売

## キリスト教正統の信仰と生き方 主教カリストス・ウエア著／松島雄一訳

正教会の全体像を知る上で今や古典的定番となった書籍の待望の邦訳。正教の教えを簡潔に説き、古代の教父、現代の著作家、正教の祈禱文などから豊富に引用され、その靈性の広さと深さを具体的に伝える。

◆四六判・260頁・定価2530円



### 【目次より】

プロローグ 道しるべ

#### 第一章 神秘としての神

「永遠」なるお方の「遠さ」と「近さ」／神秘としての神／「お方」としての神への信仰／三つの「指標」／本質とエネルギー

#### 第二章 至聖三者としての神

相互の愛としての神／一つの本質の内にある三つの位格／各位格の特性／神の両手／至聖三者に祈ること／至聖三者を生きる

#### 第三章 創造主としての神

天を見上げて／ダイヤモンドの橋／身体、魂、霊としての人／小宇宙と仲保者／像と肖／司祭と王／内なる王国／悪、苦悩、そして人間の墮落／墮落の結果／一人では誰も墮落しない／受難する神

#### 第四章 人としての神

私たちと共に「道」を行くお方／主イイス、我らを憐れめよ／二つでありながら一つ／「分かち合い」としての救済／なぜ処女懐胎なのか？／死に至るまでの従順／勝利としての死／ハリストス復活

#### 第五章 聖霊としての神

握りしめたこぶしか、広げられた両手か？／風と炎／聖霊と御子／ペンテコステの賜物／霊的師父と愚者／あなたがそうであるものになれ

#### 第六章 祈りとしての神

「道」を行く者が通ってゆく三つの段階／三つの前提／天国は激しく襲われている／精神の方向転換／被造物から創造主へ／言葉から沈黙へ／神との一致／暗黒と光

#### エピローグ 永遠としての神

終わりは近づく／未来の春／永遠への旅

### ●好評の関連書

神学への最上の入門書が新訳で！

## 教義学要綱【ハンディ版】

カール・バルト著、天野有・宮田光雄訳

戦後間もないボン大学で、敗戦に打ちひしがれるドイツの学生たちに語られた、使徒信条に基づく教義学の入門講義。バルト神学の巨大な世界を凝縮して示すのみならず、あらゆる人々に神学の魅力を存分に伝える名著を、最新の研究に基づく新訳で贈る。

◆小B6判・定価2200円



富坂キリスト教センター編

# ス・ペイン風邪と日本のキリスト教会 100年前にパンデミックとどう向き合ったか

日本人の実に4割以上が感染し35万人が死亡したと推定されるスペイン風邪。しかし当時のキリスト教会がこれにどう対処したかは実はほとんど調べられていない。コロナ禍の中で過去の教訓から学ぶべく、各教会教派の機関誌等を博捜し、当時の実態を探った共同研究。 A5判・予価1700円

ジャン・カルヴァン著／堀江知己訳

# テモテ・テトス・フィレモン書

「カルヴァン新約聖書註解」の未刊行であった巻が、新たな訳者を得てようやく世に出ることに。 A5判・予価4500円

ジャン・カルヴァン著／森川甫訳

# 共観福音書註解 下

マタイ・マルカ・ルカの三福音書を対観しながら記された註解書。福音書の「調和」を見出そうとする改革者の情熱。上巻の刊行から36年ぶりの邦訳完結となる。 A5判・予価8500円

● 4月に出た本と雑誌

## 逢坂元吉郎

鶴沼裕子著

逢坂元吉郎



鶴沼裕子著 逢坂元吉郎の生涯

壮年期は読売新聞を舞台に宗教ジャーナリストとして健筆をふるうが、国粋主義的な宗教団体から受けた暴行による大患を機に、独自の教会論や聖餐論を展開して高く評価された牧師・神学者、逢坂元吉郎。日本キリスト教史上に異彩を放ちつつも、大勢からは顧みられることの少なかったこの人物の生涯と思想を、著者の長年にわたる研究の成果に基づいて書き下ろした意欲作。 ◆四六判・定価2420円

〔重版出来〕

## キリスト教綱要 改訳版 第3篇

カルヴァン著／渡辺信夫訳 ◆A5判・定価4950円

## 旧約聖書と新約聖書

上村静著 ◆四六変型判・定価2200円

## 福音と世界

◆定価660円

5月号 スピリチュアリティ——社会との交渉

寄稿者：島蘭進、橋迫瑞穂、堀江宗正、櫻村愛子、安藤礼二、栗原康／藤原佐和子／田崎英明、勝村弘也、有住航、栗田隆子、村澤真保呂、金迅野、好井裕明、土井健司、辻学

● 黒人解放の神学といえ、まず名前があげられるのはジェイムズ・コーンだろうと思います。昨年刊行したその自伝『誰にも言わないと言ったけれど』は、ブラック・ライヴズ・マターの叫びの広がりと期せずして——本来は望ましくなく

いことですが——重なり、多くの注目を浴びた一冊となりました。あるいはコーネル・ウェストでしょうか。『人種の問題』『民主主義の問題』といった文化研究・政治理論的な著作も多いウェストは、現役の黒人神学者としてはもっとも著名な人物かもしれません。しかしそのうえで、他に誰の著作が、どれだけ翻訳されて読める状態にあるでしょうか。こうした問いは、ともすると学問知の寡多を競う高踏的なものと響きます。ですが「神をめぐる語り God Talk」として神学を理解するならばこの状況は、黒人解放の神学に込められた解放の希求と、わたしたちが歩みを共にできていないということではないでしょうか。この点で責任を多分に有するのは、他ならぬ出版社のほうです。狭義の神学を耕すのでなく、性や階級と交差する人種政治の現在を見据えつつ黒人解放の神学に学び、なんとか共闘の道筋を描くこと。『ヒップホップ・ナムネーシス』収録のオサジエフォ・ウフル・セイクウ牧師の説教、『福音と世

界』四月号掲載のアンジェラ・デイヴィスの講演には、実はそうした意図も込めていました。さらなる紹介まで、いましばらくお待ちください。(堀)

● 新教出版社の図書目録に掲載されている現役の商品は一三〇〇点以上あります。そのうち、売上の八割を占める売れ筋の書籍は一〇〇点にも達しません。残りの二〇〇点以上は、年間数冊売れるかどうか、いや下手したら一冊も売れないという地味な本です。当然書店の棚に並ぶこともなく、ひたすら倉庫で出番を待っていますから、そもそも存在自体がなかなか知られません。しかし著者にとっても出版社にとっても、大事な本であり財産であることに変わりありません。そうした、全体の売上の二割程度しか占めない膨大な商品群をロングテールと称しますが、これらロングテールをどのように掘り起こし、これに光を当て、読者との出会いにつなげるかに、多くの出版社が頭を悩ませているわけです。目立つ八割だけでなく二割も大事にし、更にそれを大きくしていくための取り組みを、小社も遅ればせながら始めているところです。

(小林)



# 福音と世界

2021年  
6

A5判・80頁・定価660円・送料70円  
年間予約購読料(送料共) 8760円

特集・「死」をいかに語りうるか

配分される死

——パンアメリックとトリアージ——美馬達哉  
〈トリアージ〉の社会学——「命の選別」を

しなくてもよい社会を構想する——天田城介  
「コロナ禍が映し出した女性の生きづらさ」

——竹信三恵子  
この単純な場所に立つてむだにぐるぐるしない、  
ために——立岩真也  
「いまここ」を越えた共生のために

——聖書の死者とホントロジー——安田真由子  
キリスト教文学は死をどのように表現したか  
——阪田寛夫、塔和子、井上ひさしの作品を  
通して——柴崎聡

熾烈な持久戦が続くミャンマー……根本敬  
【書評】『ジーザス・イン・デイズニランド』  
……清水知子

【注目の連載】

◆ 間隙を思考する 非同時代性のために 3 田崎英明  
◆ 福音のフラグメント 3 …… 有住航

◆ 古代イスラエル文学史序説 4 …… 勝村弘也

◆ 『Say a Little Prayer』開かれる世界 15 栗田隆子

◆ 今を生きるみこころは 15 …… 金迅野

◆ 新約釈義 第三マテ書 15 …… 辻 学

◆ くまさんのシネマめぐり 18 …… 好井裕明